はせどうかいづか
長谷堂貝塚　平成２９年度発掘調査 現地説明会資料

平成２９年８月５日（土）

（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

調査要項
- 所在地　：大船渡市猪川町字長谷堂 183 番地ほか
- 委託者　：大船渡市
- 事業名　：市道猿石線道路改良事業
- 対象面積：800 ㎡
- 調査期間：平成 29 年 6 月 1 日～ 11 月 30 日（予定）
- 調査担当者：高木 晃　小林弘卓　佐藤奈津季　中島康佑

1:25000 盛

はじめに

今回の長谷堂貝塚の発掘は、市道の拡幅工事に伴い、遺跡の東側を細長く縦断する形で行っています。平成 28 年度から開始し、今年は２年目の発掘調査となります。今年度部分はまだ途中段階ですが、現時点で見つかっている縄文時代中期後半の遺物包含層（いぶつほうがんそう）、貝層（かいそう）、配石遺構（はいせきいこう）、竪穴住居跡（たてあなじゅうきょあと）などについて説明します。

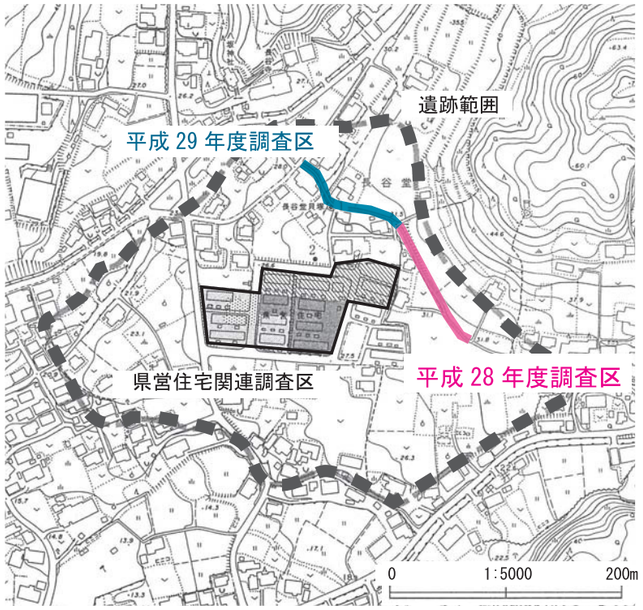
長谷堂貝塚の概要

長谷堂貝塚は 300m四方の範囲に広がる大規模な遺跡で、これまで数多くの調査が行われてきました。

1955 年の早稲田大学による発掘ではＡ・Ｃ地点の貝塚が調査され、Ｃ地点では埋葬された人骨が見つかりました。

特に大きな成果をあげた 1996 ～ 2002 年の県営住宅建設に関連した発掘では、遺跡の中心部分の様子が明らかになり、縄文時代中期から晩期、弥生時代、平安時代の集落として地点を変えながら利用されてきたことがわかっています。

今回の調査区は、主に縄文時代中期後半（約４千年あまり前）の集落が広がる地区の一部です。



長谷堂貝塚全体図

配石遺構と柄鏡形住居跡

大きな石を並べた配石遺構が複数発見されています。時期は縄文中期末～後期初頭の遺構です。

このうち、直径 5mほどの円形竪穴に隣接（りんせつ）する扁平礫（へんぺいれき）を敷きつめた配石遺構は、過去の長谷堂貝塚調査でも同様の配石が見つかっていて、敷石を伴う住居跡と報告されました。

これらは、東北地方南部以南に多い「柄鏡形住居跡（えかがみがたじゅうきょあと）」という形状の住居跡と特徴が似ており、今後、その関連を調べます。

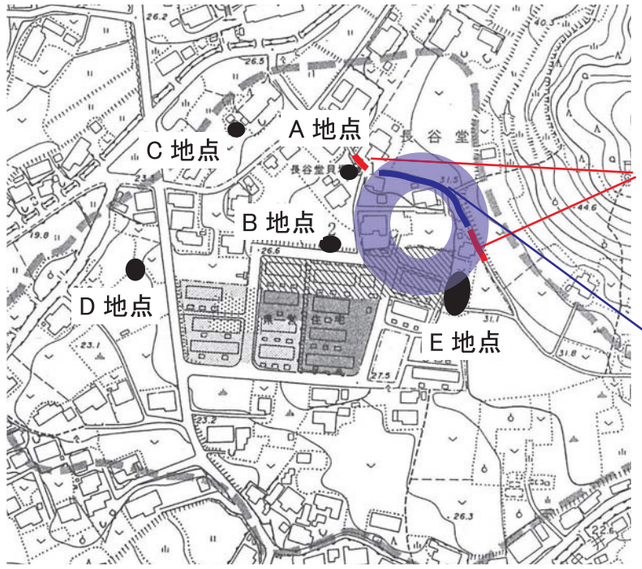
1971 年の調査で検出された敷石住居跡

貝層の調査

昨年度に引き続き、アサリの貝殻（かいがら）が集中する貝層を調査しています。過去に発掘されたＡ地点貝塚に隣接しており、径６ｍほどの範囲、貝層の厚さは約 40 ㎝。残された貝殻の総量は、およそ 4000 ～ 5000 リットルほどになると考えられます。

貝層は食料にした貝をまとめて捨てた場所で、通常の遺跡では残りにくい動物の骨が、貝殻に含まれるカルシウムの作用によって良好な状態で保存されています。シカ、イノシシといった大型の動物をはじめ、カワウ等の鳥類、魚ではサバ、マイワシ、アイナメ、サケの骨が大量に含まれていました。

今年の貝層調査では、１箇所から犬の骨がまとまって見つかっていることが特筆されます。部位別にカウントすると少なくとも８頭以上。番犬、猟犬として飼われていた犬の墓かどうかについて調べています。



まとめ

今回の発掘では、長谷堂貝塚の東側を南北に細長く調査することによって、遺跡全体の様子がより具体的にわかってきました。今後は発見された土器や石器、貝殻、骨などの分析を進め、当時の暮らしぶりを明らかにしていきたいと考えています。

最後に、様々なご協力をいただいている、大船渡市建設課、市教育委員会、地元の皆様に御礼申し上げます。

近世建物跡の検出状況

遺跡北端では江戸時代末期頃の建物柱穴が集中しており、民家があったと考えられます。

大型の扁平礫を敷きつめた遺構

大きく円を描く列石と、平たい礫を敷きつめた状態の配石が組み合わされた状態です。
竪穴住居跡の壁面に礫を並べ、一部分に張り出す敷石部を置いた、柄鏡型住居跡と呼ばれる遺構の可能性が高いと考えています。

細長い礫を扇形に並べた配石遺構

中軸線と両側に大きめの礫を置き、間に小さい礫を充填しています。

貝塚の検出状況

白っぽく見えているのは貝殻が密集しているため。直径6mほどの範囲に広がっていました。貝の種類はアサリが最も多く、カキがこれに続きます。

獣骨の出土状況

この写真に見える骨は大部分がイヌの骨です。
頭骨、下顎骨、椎骨、肩甲骨、寛骨（腰の骨）、上腕骨、大腿骨、脛骨など、全身の部分がバラバラの状態で発見されました。少なくとも7～8頭分が集中しています。

縄文時代中期後葉の竪穴住居跡群

この写真の中だけで10棟の住居跡が密集、重複しています。同じ場所で何度も建て替えが行われていたようです。

配石遺構の検出状況

意図的に礫を並べた状態で、一部に立石を含みます。

調査前の長谷堂貝塚

土器と骨の出土状況

貝層の直下から縄文中期後葉の土器と、シカの下顎骨が出土しました。